

地 図

発行者			教科書の記号・番号	判型 総ページ数	検定済年
番号	名称	略称			
2	東京書籍	東 書◆	地図 301	A4 102	平成31年
46	帝国書院	帝 国◆	地図 302	A4 120	

※「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示しています。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者
2冊	東書、帝国

2 学習指導要領における教科・学年の目標等

【社会科の目標】

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや働き、地域や我が国の歴史や伝統と文化を通して社会生活について理解するとともに、様々な資料や調査活動を通して情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したりする力、考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養う。
- (3) 社会的事象について、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土と歴史に対する愛情、我が国の将来を担う国民としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚などを養う。

【学年の目標】

【第3学年】

社会的事象の見方・考え方を働かせ、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

- (1) 身近な地域や市区町村の地理的環境、地域の安全を守るための諸活動や地域の産業と消費生活の様子、地域の様子の移り変わりについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。
- (3) 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。

【第4学年】

社会的事象の見方・考え方を働かせ、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

- (1) 自分たちの都道府県の地理的環境の特色、地域の人々の健康と生活環境を支える働きや自然災害から地域の安全を守るための諸活動、地域の伝統と文化や地域の発展に尽くした先人の働きなどについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。
- (3) 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。

【第5学年】

社会的事象の見方・考え方を働かせ、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

- (1) 我が国の国土の地理的環境の特色や産業の現状、社会の情報化と産業の関わりについて、国民生活との関連を踏まえて理解するとともに、地図帳や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらを基

に議論したりする力を養う。

- (3) 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国の国土に対する愛情、我が国の産業の発展を願い我が国の将来を担う国民としての自覚を養う。

〔第6学年〕

社会的事象の見方・考え方を働かせ、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次のとおり資質・能力を育成することを旨とする。

- (1) 我が国の政治の考え方と仕組みや働き、国家及び社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産、我が国と関係の深い国の生活やグローバル化する国際社会における我が国の役割について理解するとともに、地図帳や地球儀、統計や年表などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国の歴史や伝統を大切にして国を愛する心情、我が国の将来を担う国民としての自覚や平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養う。

【参考：小学校学習指導要領解説社会編「第4章 指導計画の作成と内容の取扱い 2 内容の取扱いについての配慮事項」から（抜粋）】

- (2) 学校図書館や公共図書館、コンピュータなどを活用して、情報の収集やまとめなどを行うようにすること。また、全ての学年において、地図帳を活用すること。

< 略 >

また、第3学年から給与される地図帳は、地図を効果的に活用することにより、位置や空間的な広がりに着目して社会的事象を捉える見方・考え方を養うことができる教材である。地図帳については、日常の指導の中で、折に触れて、地図の見方や地図帳の索引の引き方、統計資料の活用の仕方などを指導し、地図帳を自由自在に活用できる知識や技能を身に付けるようにすることが大切である。また、地図帳を日常的に活用し、地図帳への親しみをもち、問題解決のための教材として効果的に活用する能や意欲を育てるようにする。

地図帳は、第3学年から第6学年までの各学年で使用されるものであるが、特に第3学年の使い始めにおいては、地図帳の内容構成を理解できるようにする。

また、地図帳は、社会科の学習だけでなく、他の教科等の学習や家庭などにおいても活用することが大切であることを指導するようにする。

3 教科書の調査研究

(1) 内容

ア 調査研究の総括表（調査結果は「別紙1」）

調査研究事項（調査研究の対象）	対象の根拠（目標等）	数値データの単位
a 地図の基礎知識	各学年の目標(1)	個、箇所
b 地図等の種類 I	各学年の目標(1)	個
c 地図等の種類 II	各学年の目標(1)	個
d 地図の活用(日本と世界)	各学年の目標(1)	箇所
e 目的別資料図	各学年の目標(1)	箇所
f 写真・統計資料等	各学年の目標(1)	箇所
g 発展的な内容を取り上げている箇所	小学校学習指導要領 第1章総則	箇所

イ 調査項目の具体的な内容

- ① 教科書の特徴をより明確にするため、具体的に調査研究する事項
調査研究事項の e と f の関連で、次の事項について具体的に調査研究する。（調査結果は「別紙 2」）

e 目的別資料図の内容
f 写真・統計資料等の内容

<その他>

- *1 我が国の位置と領土の扱い（調査結果は「別紙 2-1」）
- *2 北朝鮮による拉致問題の扱い（調査結果は「別紙 2-2」）

- ② 調査対象事項を設定した理由等

- ・ 社会科の目標では、「様々な資料や調査活動を通して情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする」ことが示されている。具体的には、「社会的事象について調べまとめる技能」として、情報を収集する技能、情報を読み取る技能、情報をまとめる技能などが示されており、資料の特性等に応じた指導を繰り返し行うことで、児童が身に付けるようにしていくことが大切である。地図帳をその特性等に応じて活用するに当たっては、地図だけでなく、目的別資料図や写真・統計資料等の資料を活用することも重要である。そのため、具体的な内容について調査する。（e、f）

<その他>

- ・ 我が国の位置と領土の扱いについては、小学校学習指導要領に基づき、正しく理解できるようにするため、その扱いについて調査する。（*1）
- ・ 東京都教育委員会は、教育目標の基本方針 1 として「人権尊重の精神と社会貢献の精神の育成」を掲げ人権教育を推進してきた観点から、児童が人権尊重の理念を正しく理解できるようにするため、北朝鮮による拉致問題の扱いについて、調査する。（*2）

- ③ 調査の方法

e 目的別資料図について、記載されている内容を整理する。
f 写真・統計資料等について、記載されている内容を整理する。

<その他>

- *1 我が国の位置と領土について取り上げている記述の概要を調査する。
- *2 北朝鮮による拉致問題について取り上げている記述の概要を調査する。

< 調査の結果、*2 については記載の無いことを確認した。 >

- (2) 構成上の工夫（調査結果は「別紙 3」）

以下の観点について、箇条書きで記載する。

- ア 地図帳の活用について
- イ ユニバーサルデザインの視点
- ウ デジタルコンテンツの扱い

「別紙1」 【(1) 内容ア 調査研究の総括表】 (小学校 地図)

項目	a 地図の基礎知識		b 地図等の種類 I			c 地図等の種類 II				d 地図の活用 (日本と世界)				e 目的別資料図							f 写真・統計資料等			g
	地図記号の数	地球儀取扱箇所	平面図の数	絵地図の数	断面図の数	行政区分図等の数	土地利用図の数	用途別地図の数	地形図の数	日本地図の数	世界地図の数	索引に掲載されている日本の地名数	索引に掲載されている世界の地名数	国土利用・自然・環境	人口・交通・貿易	農林水産業	鉱工業	防災	日本の歴史	その他(自然災害含む)	写真	表・グラフ	分布図	発展的な内容を取り上げている箇所
発行者	170	6	88	4	0	13	14	25	39	70	21	2191	471	9	3	2	1	11	4	69	9	9	0	
東書	139	6	105	17	3	13	46	49	17	94	20	2132	397	14	3	2	9	3	5	62	24	13	0	
平均値	154.5	6.0	93.5	10.5	1.5	10.5	30.0	37.0	28.0	84.0	20.0	2161.5	434.0	11.5	3.0	2.0	5.0	7.0	4.5	65.5	16.5	11.0	0.0	

【地図の数え方等】

- ※ 表中の平均値は、項目ごとの各発行者の平均を小数第二位で四捨五入した値を示している。
- ※ 地図の総数は、東書が91、帝国が125である。
- ※ 位置を示すための小さな地図は、数に入れていない。
- ※ aの地図記号については、「おもな地図記号(東書P11)」及び「この地図帳の地図記号(東書P13)」、「学校のまわりの地図(帝国P13)」及び「記号に注目しよう(帝国P15)」に示されている記号の数を数えた。
- ※ cについては、一つの地図から土地利用図と地形図の両方を読み取ることができる地図がある。その場合は、土地利用図として数えた。
- ※ dの日本の地名数と世界の地名数については、索引に掲載されている数を数えた。
- ※ eについては、写真、表及びグラフは、数に入れていない。

「別紙2」【(1)内容イ 調査項目の具体的な内容】(小学校 地図)

e 目的別資料図の内容							
発行者	国土利用・自然・環境	人口・交通・貿易	農林水産業	鉱工業	防災	日本の歴史	その他(自然災害含む)
<ul style="list-style-type: none"> 日本の年平均降水量と海流 地形の様子 日本の地形 日本と世界のおもな山 日本と世界のおもな川 日本と世界のおもな湖 日本と世界のおもな島 日本と世界のおもな高い建物 世界の州とおもな海洋の広さ 	<ul style="list-style-type: none"> 東京の23区 東京の地下(新宿三丁目駅付近) おもな国や地域との貿易額2016年 	<ul style="list-style-type: none"> おもな漁港と水産物 土地の利用とおもな農産物 	<ul style="list-style-type: none"> 自動車工場と関連工場 自然災害にそなえて 	<ul style="list-style-type: none"> 京都市中心部 福岡町付近 奈良市中心部 8世紀ごろの日本とアジア 13世紀後半(元の時代)のユーラシア 16世紀ごろ(大航海時代)の世界 19世紀後半の世界(黒船来航のころ) 明治初期に確定した日本の領土 20世紀前半の世界(昭和の初めころ) 第二次世界大戦後の日本の領域むかしの国 	<ul style="list-style-type: none"> 広島市のように 日本の昔の境界と世界文化遺産 鎌倉のように 	<ul style="list-style-type: none"> 日本で起きたおもな自然災害 おもな台風の進路 世界の地震の分布 さまざまな自然災害 オリンピック・パラリンピック 	
東書	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな地形 地形のようす 日本のおもな山の高さ 日本のおもな山の長さ 日本のおもな湖の広さと深さ 世界のおもな山の高さ 世界のおもな川の長さ 世界の気温(気象庁の観測所で観測した数値で、1月の降水量(気象庁の観測所で観測した数値で、1981～2010年の平均値) 1月の降水量(気象庁の観測所で観測した数値で、1981～2010年の平均値) 8月の気温(気象庁の観測所で観測した数値で、1981～2010年の平均値) 8月の降水量(気象庁の観測所で観測した数値で、1981～2010年の平均値) 冬の季節風 夏の季節風 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の航空路 日本のおもな輸入相手国・地域(2016年) 日本のおもな輸出相手国・地域(2016年) 	<ul style="list-style-type: none"> 地下ダムによる沖縄県糸満市の農業 気仙沼付近の漁業のようす 高地のくらしーハハヶ岳山ろくの野菜づくりー2018年 農業のようす 土地利用のおもな農産物の産地 各地の水産業 	<ul style="list-style-type: none"> 自動車産業のさかんな愛知県 工業の分布 	<ul style="list-style-type: none"> 洪水への備えー濃尾平野の輪中ー 札幌市中心部ー雪の多い都市の工夫ー さまざまな防災への取り組み 地下調節池の分布 地下調節池のしくみ 徳島県に残る地震・津波の碑 兵庫県南部地震の被害と防災拠点 災害に備えた学校(神戸市立本庄小学校) 防災マップづくり 	<ul style="list-style-type: none"> 日本のおもな山の高さ 日本のおもな山の長さ 日本のおもな湖の広さと深さ 世界のおもな山の高さ 世界のおもな川の長さ 世界の気温(気象庁の観測所で観測した数値で、1月の降水量(気象庁の観測所で観測した数値で、1981～2010年の平均値) 1月の降水量(気象庁の観測所で観測した数値で、1981～2010年の平均値) 8月の気温(気象庁の観測所で観測した数値で、1981～2010年の平均値) 8月の降水量(気象庁の観測所で観測した数値で、1981～2010年の平均値) 冬の季節風 夏の季節風 	
帝国							

発行者	写真	写真・統計資料等の内容	分布図	
<p>東書</p>	<p>北の端 ① 択捉島 ② 与那国島 ③ 南鳥島 ④ 沖ノ鳥島 ひめゆりの塔 万蔵毛 さとうきび畑 尖閣諸島 竹島 大阪国際空港 新東名高速道路 貨客船「おがさわら丸」 新幹線「はやぶさ」号 金閣 銀閣 東大寺の大仏 新宿の高層ビル群と富士山 東京タワーと東京スカイツリー 地球儀をまわしてみよう 方位を調べよう さよりを調べよう 大きな形を調べよう 旧グリニッジ天文台 バンダ(中国) アメリカババイン(アメリカ) コアラ(オーストラリア) コンドル(ペルー) フランス ポークソテー オーストリア ウィンナー スペイン バエリア イタリア ピザやパスタ トルコ ドネル・ケバブ 中国 マーボー豆腐 フィジー ロボ メキシコ タコス ハワイの海岸 海面が上昇した海岸 自動車の積み出し港 法隆寺地域の仏教建造物 姫路城 古都京都の文化財 白川郷・五箇山の合掌造り集落 原爆ドーム 厳島神社 古都奈良の文化財 日光の社寺 琉球王国のグスク及び関連遺産群</p>	<p>写真</p> <p>・紀伊山地の霊場と参詣道 ・石見银山遺跡とその文化的景観 ・平泉—仏国土(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群 ・富士山—信仰の対象と芸術の源泉 ・富岡製糸場と絹産業遺産群 ・明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼・造船・石炭産業 ・ル・コルビュジエの建築作品—近代建築運動への顕著な貢献 ・「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群 ・屋久島 ・白神山地 ・知床 ・小笠原諸島 ・北アルプス(飛騨山脈)の山々 ・シヤンハイ(中国)の高層ビル群 ・火山の噴火 ・地震 阪神・淡路大震災 ・洪水 関東・東北豪雨 ・土砂災害 九州北部豪雨 ・雪の被害 平成29～30年の大雪 ・津波 東日本大震災 ・津波がここまで来たという場所を示す石碑</p>	<p>表・グラフ</p> <p>・日本の国土の統計(平成29年度理科年表ほか) ・雨量図(1981～2010年の平均値—気象庁資料ほか—) ・おもな国や地域との貿易額2016年(財務省貿易統計ほか) ・日本の貿易相手国・地域2016年(財務省貿易統計) ・日本の輸出品と輸入品2016年(財務省貿易統計) ・日本各地の気温と降水量(1981～2010年の平均値)(平成30年理科年表) ・日本の都道府県の統計(総務省資料、生産農業所得統計、経済センサスほかによる) ・世界のおもな国の統計(外務省資料、財務省貿易統計、国際連合資料ほかによる) ・地球の総面積(理科年表 平成30年ほか)</p>	<p>分布図</p> <p>・自動車工場と関連工場の分布 ・おもな漁港と水産物 ・土地の利用とおもな農産物 ・日本の工業の分布 ・日本の貿易 ・日本の歴史と文化—日本の世界遺産— ・オリンピックとワールドカップ ・大きな被害をもたらした台風の進路(理科年表 平成30年) ・日本の自然災害(理科年表 平成30年ほか)</p>

発行者	写真	f 写真・統計資料等の内容	分布図
<p>真横から見た学校 ・ななめ上から見た学校 ・真上から見た学校 ・果物の畑が多いところ ・野菜などの畑が多いところ ・ビルや家が多いところ ・田んぼが多いところ ・北方領土 ・竹島 ・尖閣諸島 ・北端-択捉島- ・西端-与那国島- ・南端-沖ノ鳥島- ・東端-南鳥島- ・奈良公園を訪れる外国人観光客(2013年) ・空から見た京都市中心部(2016年) ・地球儀を使おう(方位を調べる、きよりを調べ、面積、形を調べる) ・今日はお店のカラー-[インド] ・サンタさん、暑くない？[オーストラリア] ・今はお祈りの時間[サウジアラビア] ・はしを使って食べよう[中華人民共和国] ・アッサラム アライクム！[エジプト] ・これがチョコレートになるよ[ガーナ] ・寒いけど、外で遊びたい！[ロシア連邦] ・チーズが大好き！[オランダ] ・バスが大好き！[イタリア] ・将来の夢はサッカー選手！[ブラジル] ・生活に欠かせない動物だよ[ベルギー] ・ロッキーマン脈が見えた！[カナダ] ・今日のお昼はこれに決めた！[アメリカ合衆国]</p>	<p>写真 ・端島(軍艦島) ・石見鞆山の狐山町 ・厳島神社 ・原爆ドーム ・姫路城 ・正倉院 ・法隆寺 ・清水寺 ・熊野古道 ・白川郷 ・富士山 ・中尊寺金色堂 ・東照宮の陽明門 ・製糸場のまゆ倉庫 ・国立西洋美術館 ・名越切通し</p>	<p>表・グラフ ・沖縄島の総面積にしめるアメリカ軍専用施設の割合-2016年末-(沖縄県資料) ・世界の陸地の面積(世界人口年鑑2016、ほか) ・海洋の割合と面積(理科年表 平成30年度) ・姉妹都市の例 ・地形別に見た日本の人口(日本統計年表 平成28年度、ほか) ・おもな都市の気温と降水量(理科年表 平成30年) ・おもな自然災害(2000年以降)(気象庁資料、ほか) ・地域による農業生産の違い(2015年)(平成27年 生産農業所得統計) ・日本のおもな農産物と水産物の生産量の変化(平成27年 食料需給表) ・日本の工業のつらわけ(2015年)(平成28年 経済サンセス) ・工業の種類 ・工業生産(出荷額)の多い県(2015年)(平成28年 経済サンセス) ・おもな工業地域の工業生産(出荷額)(2015年)(平成28年 経済サンセス) ・日本の輸入品と輸出品の変化(財務省貿易統計) ・日本の食料自給率(平成28年 食料需給表、ほか) ・日本を訪れる外国人のうちの日本人の数(日本政府観光局(JNTO)資料) ・日本を訪れる外国人のつらわけ(2017年)(日本政府観光局(JNTO)資料) ・日本で暮らす外国人の出身地(2016年)(平成29年 在留外国人統計) ・日本のおもなできごと ・都道府県別の統計(農林水産統計、平成28年度経済センサス、全国都道府県市区町村別面積調、ほか) ・おもな農産物の生産(農林水産統計速報、ほか) ・おもな工業の生産額(工業統計表、ほか) ・日本の水産物の輸入先(財務省貿易統計) ・世界のおもな国々と日本の結びつき(財務省貿易統計、世界人口年鑑2016、ほか)</p>	<p>分布図 ・日本で起きた自然災害(気象庁資料、ほか) ・おもな台風の進路(理科年表 平成30年) ・世界の地震の分布(アメリカ地質調査所資料、ほか) ・地下調節地の分布(東京都建設局資料、ほか) ・徳島県に残る地震・津波の痕(徳島県資料) ・土地利用のおもな農産物の産地(農林水産資料、ほか) ・各地の水産業(平成28年 水産物流通調査、ほか) ・工業の分布(EDINET資料、ほか) ・日本の航空路(JTB時刻表 2018年2月号、ほか) ・日本のおもな輸入相手国・地域(2016年)(財務省貿易統計) ・日本のおもな輸出相手国・地域(2016年)(財務省貿易統計) ・オリンピック・パラリンピック(JOC資料、ほか) ・日本の昔の昔の境界と世界文化遺産</p>
<p>帝国</p>	<p>写真 ・日本に友だちがいるんだ[アメリカ合衆国] ・地震時の消防隊による救助活動 ・火山灰や岩石が降り積もった御嶽山- ・大雪の影響で渋滞する道路 ・水害時の自衛隊による救助活動 ・津波による被害 ・神田川・環状七号線地下調節池 ・過去2回の津波の高さを示した碑 ・みかんの収穫 ・さんまの水あげ ・港に面した工業地域 ・名古屋港での自動車の輸出 ・国内外の多くの空港と結ばれる東京国際(羽田)空港 ・東京を観光する外国人 ・吉里城跡 ・宗像大社・沖津宮</p>	<p>写真 ・真横から見た学校 ・ななめ上から見た学校 ・真上から見た学校 ・果物の畑が多いところ ・野菜などの畑が多いところ ・ビルや家が多いところ ・田んぼが多いところ ・北方領土 ・竹島 ・尖閣諸島 ・北端-択捉島- ・西端-与那国島- ・南端-沖ノ鳥島- ・東端-南鳥島- ・奈良公園を訪れる外国人観光客(2013年) ・空から見た京都市中心部(2016年) ・地球儀を使おう(方位を調べる、きよりを調べ、面積、形を調べる) ・今日はお店のカラー-[インド] ・サンタさん、暑くない？[オーストラリア] ・今はお祈りの時間[サウジアラビア] ・はしを使って食べよう[中華人民共和国] ・アッサラム アライクム！[エジプト] ・これがチョコレートになるよ[ガーナ] ・寒いけど、外で遊びたい！[ロシア連邦] ・チーズが大好き！[オランダ] ・バスが大好き！[イタリア] ・将来の夢はサッカー選手！[ブラジル] ・生活に欠かせない動物だよ[ベルギー] ・ロッキーマン脈が見えた！[カナダ] ・今日のお昼はこれに決めた！[アメリカ合衆国]</p>	<p>写真 ・端島(軍艦島) ・石見鞆山の狐山町 ・厳島神社 ・原爆ドーム ・姫路城 ・正倉院 ・法隆寺 ・清水寺 ・熊野古道 ・白川郷 ・富士山 ・中尊寺金色堂 ・東照宮の陽明門 ・製糸場のまゆ倉庫 ・国立西洋美術館 ・名越切通し</p>

発行者	北方領土に関する掲載の概要	竹島に関する掲載の概要	尖閣諸島に関する掲載の概要	その他(領土の範囲等)
東書	<p>【写真】「北の端 ①択捉島」に『択捉島は北方領土最大の島で、面積は3167km²。第二次世界大戦後にソビエト連邦が占拠し、現在もロシア連邦が占拠を続けています。日本は一貫して返還を求めています。』という説明がある。<P16></p> <p>【地図】「日本の47都道府県」<P5~6>「日本とそのまわり」<P16>、「日本列島-九州から北海道-」<P22>、「択捉島」<P54>、「千島列島」<P54>、「オセアニア」<P67>、「日本の地形」<P70>、「第二次世界大戦後の日本の領域」に『現在ロシアが占拠している地域』という説明がある。<P78>、「日本と世界のおもな島」<P82></p>	<p>【写真】「竹島」に『日本固有の領土ですが、韓国に占拠され、日本は抗議を行っています。』という説明がある。<P27></p> <p>【地図】「日本の47都道府県」<P5~6>「日本とそのまわり」<P15>、「日本列島-九州から北海道-」<P20>、「島根県」<P27>、「日本の地形」<P69>、「第二次世界大戦後の日本の領域」<P78></p>	<p>【写真】「尖閣諸島」に『魚釣島(後ろに見える島)などからなる、日本固有の領土です。』という説明がある。<P18></p> <p>【地図】「日本の47都道府県」<P5~6>、「日本とそのまわり」<P15>、「日本列島-南西諸島から九州-」<P18>、「第二次世界大戦後の日本の領域」<P78></p>	<p>【写真】「西の端 ②与那国島」<P16>、「東の端 ③南島島」<P16>、「南の端 ④沖ノ島島」に『日本は、この島がはずまないようにする工事を行い、日本の国土面積(約38万km²)よりも広い約40万km²の排他的経済水域を確保しています。』という説明がある。<P16></p> <p>【地図】「日本の47都道府県」<P5~6>、「日本とそのまわり」<P15~16>、「西南諸島のおもな島」<P19>、「ユーラシア、北極」<P58>、「アジア」<P60>、「オセアニア」<P67>、「日本の地形」<P70>、「第二次世界大戦後の日本の領域」<P78></p>
帝国	<p>【写真】「北方領土」に『北方領土は日本の固有の領土ですが、ロシアが不法に占拠しています。』という説明がある。<P30></p> <p>【北端-択捉島-】に『1945年から国後島、色丹島、歯舞群島とともにロシア(当時はソ連)に占拠されたままになっていて、自由に行き来できません。』という説明がある。<P30></p> <p>【地図】「日本をながめてみよう」<P6>、「日本の領土とそのまわり」<P30>、「北海道地方」<P70>、「択捉島」<P70>、「アジア」<P78>、「日本で起きたおもな自然災害」<P92>、「都道府県の区分」<P116~117>、「世界の国々」<P119></p>	<p>【写真】「竹島」に『島根半島の沖に位置する日本の固有の領土ですが、韓国が不法に占拠しています。』という説明がある。<P30></p> <p>【地図】「日本をながめてみよう」<P5>、「竹島」<P21>、「日本の領土とそのまわり」<P30>、「竹島」<P37>、「都道府県の区分」<P116></p>	<p>【写真】「尖閣諸島」に『日本固有の領土です。一番奥に見えるのが諸島の中でも最も大きな魚釣島です。』という説明がある。<P30></p> <p>【地図】「日本をながめてみよう」<P4>、「日本の領土とそのまわり」<P29>、「南西諸島」<P116></p>	<p>【写真】「西端-与那国島-」<P30>、「南端-沖ノ島島-」<P30>、「東端-南島島-」<P30></p> <p>【地図】「日本をながめてみよう」<P4>、「南西諸島」<P19>、「日本の領土とそのまわり」<P29~30>、「南西諸島」<P31>、「アジア・オセアニア」<P75>、「アジア」<P78>、「日本で起きたおもな自然災害」<P91>、「南西諸島」<P116>、「南島島」<P116>、「沖ノ島島」<P116>、「世界の国々」<P119></p>

「別紙3」【(2)構成上の工夫】(小学校 地図)

項目 発行者	ア 地図帳の活用	イ ユニバーサルデザインの視点	ウ デジタルコンテンツの扱い
東書	<ul style="list-style-type: none"> ・地図の仕組みと約束事が分かるように、ページいっばいの大きさの鳥瞰図を用いて、鳥瞰図(P7～8)→真上からの地図(P9～10)→広い範囲を見わたす(P11～12)という視点の変換を展開している。 ・索引の引き方を、漫画を使って説明している。(P13) ・地図を読み取る視点や活用の仕方について、キャラクターを用いて示している。 ・地球儀の活用の仕方について、写真を用いて解説している。(P55～56) ・自然災害や防災についての情報をまとめた地図を掲載している。(P97～99) ・2020年東京オリンピック・パラリンピックの主な会場予定地と競技名を掲載している。(P47～49) ・夏季及び冬季オリンピック、サッカーワールドカップの開催地を示した地図を掲載している。(P85) ・冒頭にイラストを示した世界地図、日本地図を掲載し、地図の世界への導入としている。 ・「世界全図と地球儀」のページで、大陸と州、海洋名の英語を記載している。 ・世界地図では、全ての国名の英語を記載している。 ・日本の歴史を学びながら、同じ時代の世界の様子が捉えられられる歴史地図を掲載している。(P75～78) 	<ul style="list-style-type: none"> ・カラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインに配慮している。 ・ユニバーサルデザインフォントを採用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・P92下部に、「D(デジタル)マークコンテンツ」として、クイズ、動画及び公共機関の内容を掲載しているインターネット上のリンク(URL)アドレス及び2次元コードを示している。 ・インターネットを活用した学習ができる学習できるページには、「Dマーク」を示している。(P5など)
帝国	<ul style="list-style-type: none"> ・「地図とは何か」について、まず学校のまわりを例に、真横から見た学校→なめ上から見た学校→真上から見た学校のまわり→学校のまわりの地図へという視点の違いを踏まえて解説している。(P7～8) ・「地図とは何か」について、実際のまち(大阪府堺市)の鳥瞰表現の地図と平面の地図を比べている。(P7～8) ・「地図のやくそく(方位)(地図記号)(きよりの求め方)」について、導入を3コマ漫画で示している。(P9、P11、P13) ・地図を読み取る視点や学習課題について、キャラクターを用いて示している。 ・地球儀の活用の仕方について、写真を用いて解説している。(P73～74) ・災害への備えや防災について、具体的に示した地図等を掲載している。(P54、71、93、94) ・「東京2020オリンピック・パラリンピックのおもな会場予定地や競技名など」を掲載している。(P61～62、P63～65) ・夏季及び冬季オリンピック・パラリンピックの開催地と開催年を記載している。(P100) ・世界の地図ページでは主要な国名や首都名に英語を記載したり、「外国から日本へ伝わったさまざまな言葉」を示したりしている。 ・世界全図に14ヶ国語の挨拶を紹介したり(P1～3)、「集まれ！世界の子どもたち」では、紹介されている国の国旗や挨拶等が示されたりしている。(P76など) ・「地図マスターへの道」を掲載し、地図の活用の練習ができるようにしている。(P18など) 	<ul style="list-style-type: none"> ・色覚特性に配慮した色づかいとなるよう工夫している。 ・ユニバーサルデザインフォントを採用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・P6の下部に、都道府県ごとの地図(白地図切り替え含む)をはじめ、トローン動画、クイズ、統計などのコンテンツを掲載しているインターネット上のリンク(URL)アドレス及び2次元コードを示している。 ・インターネットを活用して学習ができるページには、二次元コードが掲載されている。(P4など)